

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 8 年 5 月 22 日(金) 18:30～20:00

場 所： カルチャープラザ

出席者： 9 人

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 懇 談
 - (1) 3 期目の政策について
 - ・ 資料①、資料②参照
 - (2) 関係機関・団体からの事前質問に対する回答
 - ・ 資料③
 - (3) 自由
4. その他
5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■ ポジポの連携について

町 民 固定資産税の支払いの際に、ポジポと連携すればいいのではなかつたかと思った。電子マネーや PayPay のように、ポイントバックとかはないようだがやっている市町村もあるようだ。町税だと、固定資産税、自動車税は道税、軽自動車は町税。あと水道料、国民年金、住宅料だとかポジポと連携できればいい影響を与えるのではないかと思う。

町 長 行政ポイントとしては、町の事業への参加が中心になって 32 事業を登録している。これを少しずつ増やしていき、地域内循環だとか、町民の事業参加のきっかけにしてもらいたい。税金等の支払いの関係については、研究しなければならないと思っている。他の町で事例があるようなので、検討させていただきたい。公共施設の使用に、ポジポのポイントを使えるようにしてもらいたいという意見が小学校の 4 年生の方から出たということもあって研究している。提言のあったことも含めて検討したい。

■ 栗山プールの外壁破損について

町 民 栗山小学校のプールの外壁の鉄筋が剥き出しになっている。危険は排除するべきだと思う。その辺を補正予算というのをつけて、今年の夏までに直すとかどうか、そういったことを考えているのかお聞きしたい。

建設課長 今年プールテントの張り替え等を考えている。子どもたちに何かあったら大変なので、再度教育委員会と情報共有しながら、事故のないよう対応を検討していきたい。

■役場窓口のデジタル化について

町 民 窓口業務などデジタル管理して人手不足を補おうというのはわかる。みんなが使える状態であればいいが、使わない人、使えない人、たくさんの方がいると思うので、なくても対応してもらえるようにしてもらいたい。

総務課長 窓口キャッシュレス化は、来年4月の導入を目指している。例えばクレジットカードや、スマホのQRコードだけしか使えないわけではなく現金の取り扱いも残す。いろいろな方法で、窓口で支払いできるように考えているので、デジタルが苦手な方でも、活用いただける窓口となるよう努めたい。

■小中一体型の義務教育について

町 民 来年の4月から栗山小学校に子どもたちが集まって始まるわけだが、いつ頃、中学校と小学校が一体となった校舎ができるのか。小学校と中学校来年からは離れているので、1つの建物の中でやるっていうことを早くしなければ、意味がないのではないかと思う。義務教育学級を立ち上げた意味もまた多く、深く強いものになるのではないかと思う。厳しい問題はあるかと思うが、できるだけ早い時期に、一体化の義務教育学校ができることをお願いしたい。とにかく子どもが安心して楽しく学校生活を送れるように最大の努力をしていただければ。嬉しいなと思っている。ただ、小中が一緒になった時、9年間という長い年数を一つの学校の中で生活するのでデメリットの部分心配しなければならない。不登校だとか、いじめだとか、そういう問題ができた時にはなかなかそこから、ぬけられない子どもたちも出てくるのではないかなど。長い間いじめにあったり、あるいは不登校が続いたりということもあるかもしれない。子どもが主人公になるようにいろいろとご配慮いただいて、一年でも早く一体化でいけるようにしていただきたい。

町 長 新校舎の整備については多くのお金がかかってしまう。今年は、統合後の活用する校舎となる栗山小学校がだいぶ傷んできているので、建物の状況をまずしっかり把握するための劣化度調査をする。その結果を踏まえた上で、来年からは、新築にする方法、大規模に改修をする方法、長寿命化対策の3つを検討していきたい。それを踏まえた上で、町民の皆さんや有識者の方、学校の方を交えて、整備方法の決定をしていく検討委員会というものを作りたい。それを踏まえて町議会の方でも議論をして、最終的に整備方法を決めていきたい。その中では当然、財政のことも考えなければならない。子どもたちの教育環境もしっかり考えて、そして、まちの将来の学校教育のあり方みたいなものも考えた上で、最終的に結論を出したいというふうに思っている。なるべく早い段階で少し年数はかかるかもしれないが、まずは整備方針を作り上げていきたい。

教育長 小中一貫、小中学生が一緒になって学ぶというのは、教え合うということも含めてメリットになる。北海道では教員不足が顕著に表れている。空知管内のいろいろな小・中学校で教員不足になっている中、栗山小学校は加配という定数以上に教員を入れていただいている。しかし、いつ何時、他の地域と同じように、定数に満たない状態でやらなきゃならない状況が起きるかもしれない。そういったことも含めて、小中一貫で一つの建物で行うというのはメリットになる。角田小学校と継立小学校でできなかった学習、例えば社会科のまちの勉強、それから理科での、例えば自然の勉強、例えばオオムラサキ館となってくると、移動手段がどうしても時間がかかるので、すぐに学習に結びつけられないというデメリットがある。統合することによって、学校から出たらすぐ学習の場がありますので、教科内容でも非常にメリットが大きい。

■道の駅の構想について

町 民 国道 234 号線の整備と合わせて道の駅整備に向けた構想について、今までどんな話がされて、具体的にどんな構想がされているのか。道の駅はうまくいっているところがあれば、結構大変な思いをして閉鎖になるようなところあるので、その辺の状況を教えてほしい。

町 長 今、国道 234 号線の 4 車線整備について国の方に要望をしているが、なかなか 4 車線化が進まない状況。国の予算も限られている中でいきなり 4 車線化は難しいと。開発局とは、234 号にある 8 カ所の危険交差点を改良して行って、それが終わった段階でつなげて 4 車線化にしようということで話をしている。そしてちょうど栗山公園球場のところが 4 車線で引かかるので、そのタイミングにあわせて、道の駅を作ったらどうかということで、いろいろな意見をいただいていた。うまくいっていない道の駅は、トイレだけに寄るような通過型の道の駅。それでは採算が取れない。栗山公園のところにもし道の駅ができれば、滞在型の、1 日公園でゆっくり楽しんでいただけて購買もしてもらうことができる。今は、国道 234 号の整備も進んでいないので、道の駅の具体的な整備計画というのはまだないという状況。

商工観光課長 どの場所で、どのぐらいのコストとランニングコストをかけて、どのような財源で行っていくかなど数字的な検討までにはしていない。空知管内にもいろいろ道の駅があり、隣の長沼町の道の駅では、栗山町と一桁違う観光人口になっている。成功しているところもたくさんあるが、町の公費をかなり費やさなければ人件費の補填ができないというところの方が多く、自らの財源でやれている道内の道の駅はすごく少ない。そういうところも含めて、どのぐらいのイニシャルコスト、ランニングコストでクリアしていくかどうか、その町にとって大きな経済効果が図れるかということ、様々なデータを用いて示すことができればいいなと思っている。

■町内会自治会の区域再編支援制度について

町 民 町内会理事会の区域再編支援制度の創設とあるが支援制度というのはどのようなイメージなのか。まちづくり協議会では、町職員には支援員として協力してもらっていて本当に感謝している。

企画財政課長 複数の町内会が合併をする際に、新しく組織が立ち上がるということで、いろいろな面で費用がかかると思われる。再編支援制度は、そういった費用を支援できないかという考え方を持たせている。役員の担い手不足などの声もあり、再編支援制度の検討に加えて、町内会活動が活性化できるような、運営面のお手伝いとか、支援も含めて、具体的な内容も盛り込んでいければと考えている。

町 長 町は以前から、少し先の将来を見据え、町内会よりもう少し大きな枠組みの中でやれる仕組みがないかということで、10 年以上、まちづくり協議会制度を進めてきた。単位の活動というのは地縁組織の活動であるため、そこに対して行政が、ああしなさい、こうしなさいとか、大変だったら一緒になりなさいとかなんていうことは言うことはできない。自主的に少し大きな枠組みを作っていき、将来にわたって地域のコミュニティをしっかりと維持していくような、そんな取り組みが全町に広がってほしいなと思っている。錦の取り組みについては、これからの全町的なモデルになっていくと思っている。

■公営住宅の建設と収入制限について

町 民 自宅の近くに公営住宅が建った。調べてみると町内の公営住宅は約 25、26 部屋空きがあるようだ。空きがあるのだから建てなくてもいいのかなと単純に思った。ホームページには「年収制限」とか書いてあるが、空きにしておくのであれば収入の基準を超えていても入れてしまった方が良くはないか。空きがあったらもったいない。

建設課長 現在、公営住宅の管理戸数は 719 戸で、入居戸数は 559、43 空いている。中里団地の建て替えに伴い、政策的に空けているところもある。今後は、中里団地も実際の戸数量が減る形になる。中里団地の改修が終わると、ちょっと間が空いた中で、次に古いところというような表現になるが、松風、継立の 4 階建ての建て替え等の検討時に、空いているところへ転居していただくような形を考えている。収入基準の関係については、公営住宅であるため生活困窮者の方々に対する建物ということで、認識していただきたい。そのため、生活に余裕のある方については優先順位が下がると認識してもらいたい。また、1 階の希望が多く 2 階以上の階層に空きが出やすい。収入などの事情以外にもこういった部分で空きが出ている事情もある。